



このワークシートは、

シニアコンサルタント
杉田ユウイチが
解説いたします。

データ活用プロジェクトの発足においては

- データの活用が十分にできていないという認識レベルで、まだ課題が明確化できていない場合も少なくありません。

右図のように現状の課題認識を深めることから、プロジェクト化しやすい課題にできるか考えてみましょう。

ある程度課題が整理できたら、対象に出来るデータはどこまでか把握してみましょう。全て洗い出す必要はありませんが、対象にできる幅がどこまでか想定してみましょう。

対象に出来るデータの洗い出しは、以下の4通りから始めてみましょう。

1. マーケティングプロセスに合わせて獲得されていくデータ
2. 顧客データ・販売データ
3. レスポンスデータ
4. パフォーマンスデータ



何回か繰り返してみましょう

データ活用を整理するには、マーケティング上のプロセスのどこを強化・効率化すべきなのかを見極めてテーマ設定することをおすすめしています。

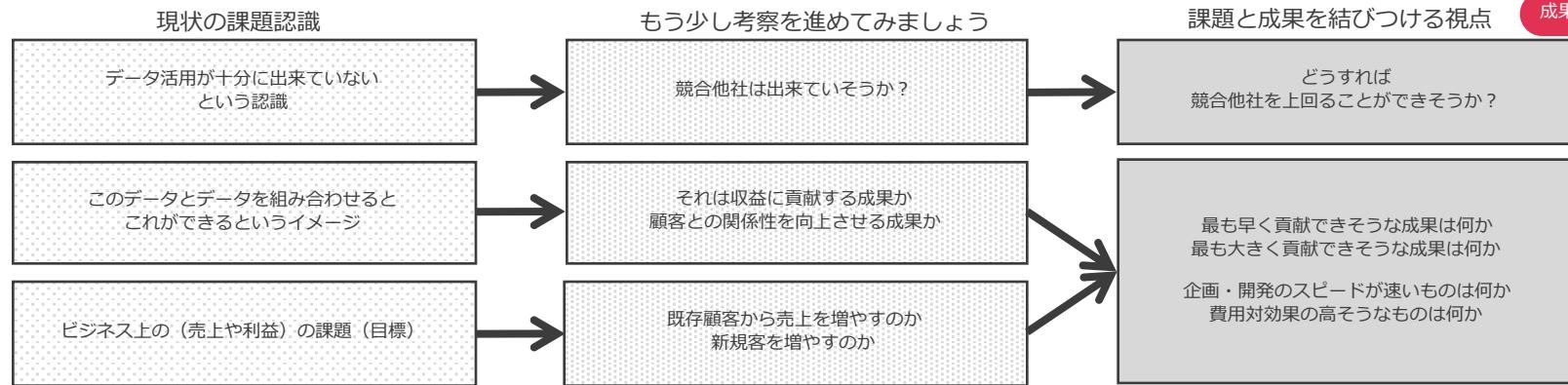
成果が出やすい

右図は少し難しく見えるかもしれませんが、ジェネシスで通常プランニングに利用しているデータ活用戦略の区分（ネット重視B2C版）です。

ヨコに見ると、どこまでの幅でプロジェクト化できるかの目安がわかります。

タテに見ると、データ活用のテーマに合わせて、どのようなことが検討・整備されていくべきか読み解いていただけたらと思います。

明確な課題があるか？

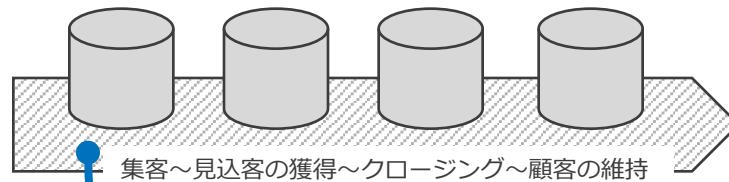


成果が出やすい

プロジェクトの対象に出来るデータはどこまでか？

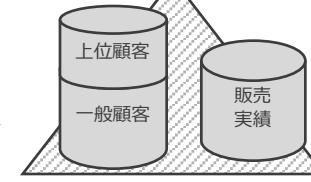
マーケティングプロセスから生成・獲得されるデータ

貴社のマーケティングプロセスを整理しながら考えてみましょう。



顧客データ・販売データ

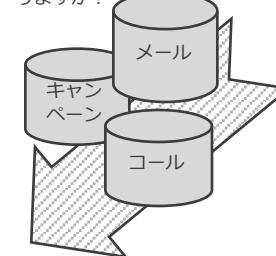
顧客区分の定義がありますか？



誰に何をどのチャンネルから、どれだけ、いくらで販売したかわかりますか？

レスポンスデータ

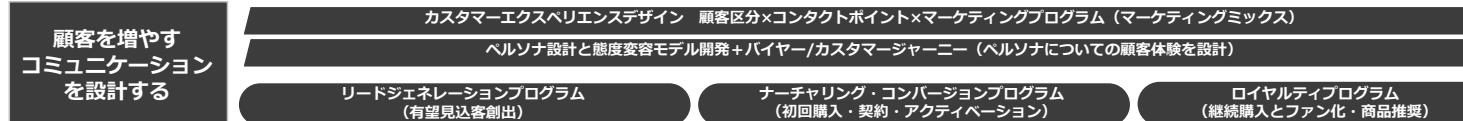
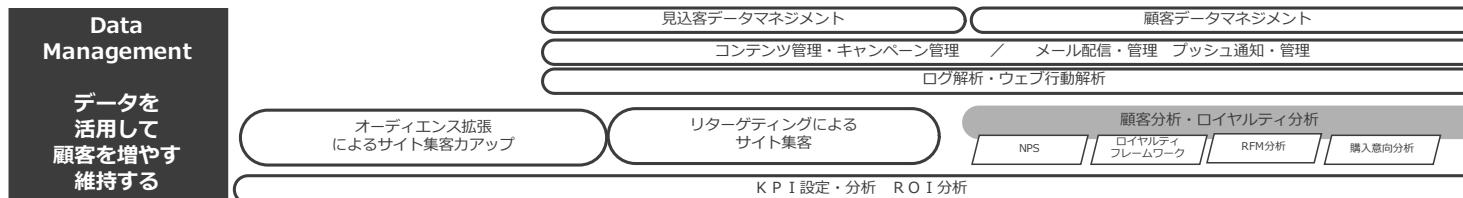
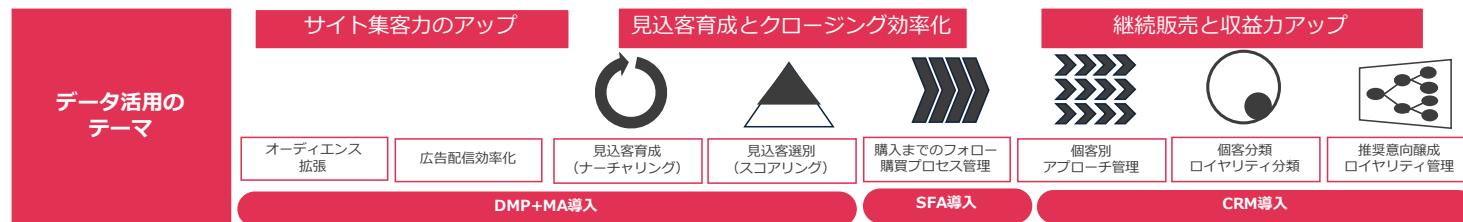
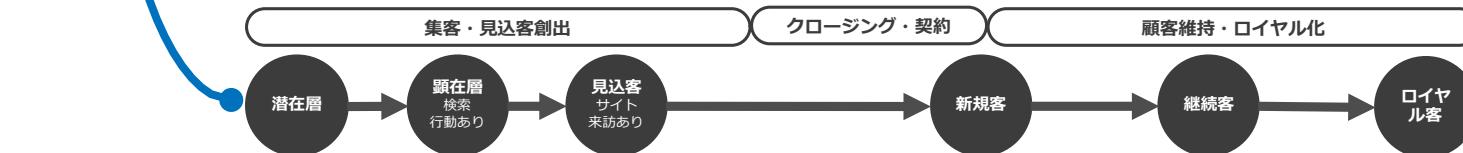
だれがどんな反応をしたかわかりますか？



パフォーマンスデータ



データ活用のテーマは何か？



ジェネシスでは、データ活用戦略の区分を以下の通り用意しています。

- データ活用戦略**
- ・ ネット重視B2C版
 - ・ B2C版
 - ・ オムニチャネル版
 - ・ ネット重視B2B版
 - ・ B2B版
 - ・ ABM版
 - ・ イベント連動B2B版

貴社のビジネス課題に合わせた戦略提案をさせていただきます。

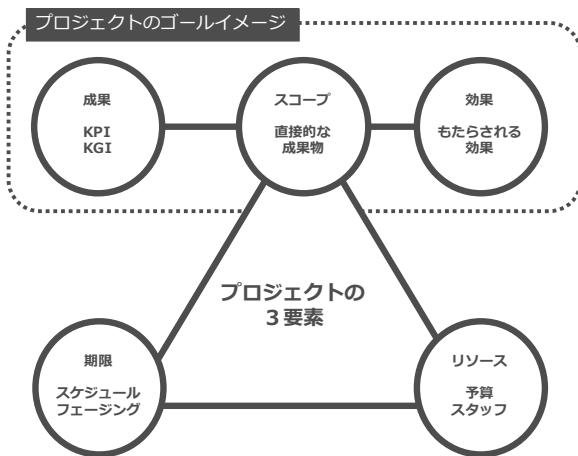
プロジェクト定義してますか？

多くのケースではプロジェクト定義が非常に曖昧になっていることが多いように思います。

プロジェクト発足時に大切なのはゴールイメージを持つとすることです。

この時点ではスコープは難易度や開発規模により複数案あっても構いません。

開発業者選定前、予算化前に全て決めるのは難しいことが多いと思いますが、想定をしておくことで、要求事項の具体性が高まるはずですよ。



◎プロジェクトのゴールイメージ (成果イメージ) は、

- 開発するシステムなどの直接的な成果物
- その成果物で実現される数値的な成果
- 顧客との関係性や競合企業に対する優位性などの効果

まで定義するとよいでしょう。

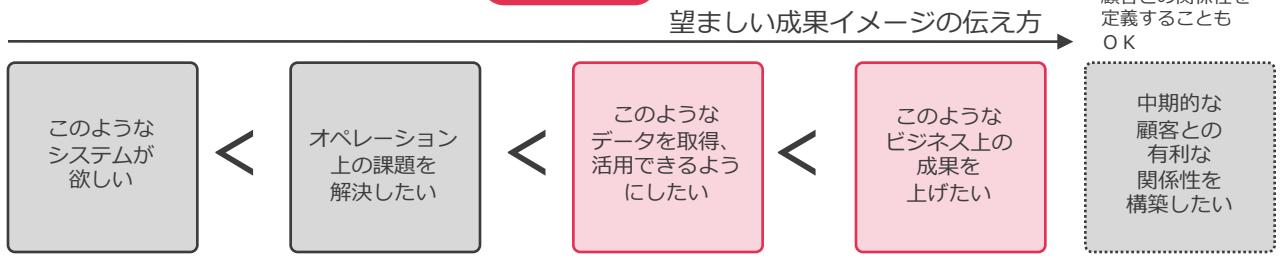
成果が出やすい

成果イメージを反映したRFP (提案依頼書) 作成してますか？

プロジェクトのパートナーを探し、決定をしていくためのRFP (提案依頼書) をまとめましょう。

データ活用プロジェクトの場合は、営業企画部門+情報システム部門の合同で記述するのが望ましいと思いますが、難しい場合は、営業企画部門 (ユーザー) の要求事項を優先してまとめたほうが良いかと思えます。

◎成果イメージを伝えることが重要！



場合によっては、売上ではなく、顧客との関係性を定義することもOK

成果が出やすい

予算は少ない方が当然望ましいわけですが、データ統合費が比重として重くなってしまふことが多いようです。

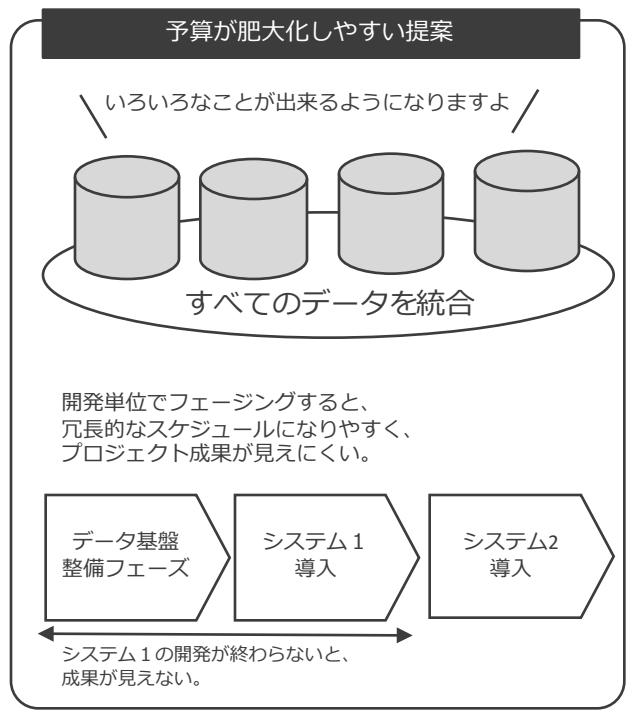
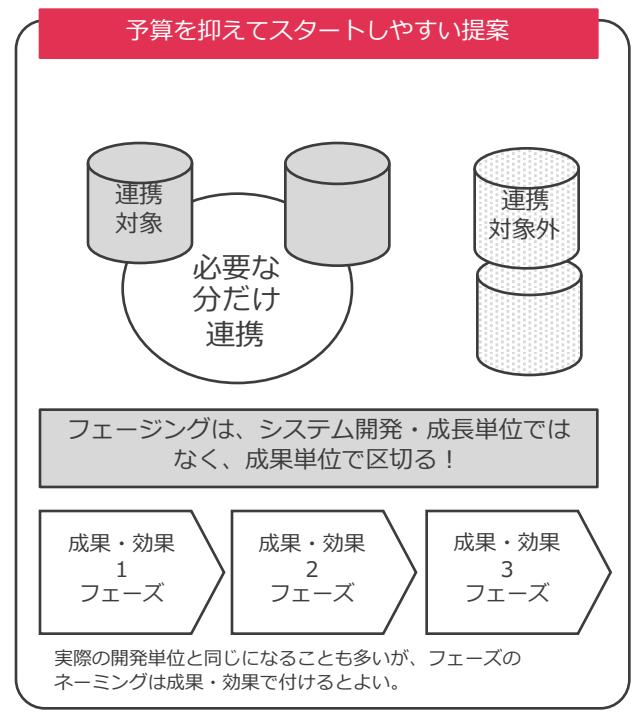
認められる成果をあげるために必要最低限のデータ連係がどのくらいの規模になるかという視点から提案を求め、

初期提案時の予算を下げるようにしましょう。

- 予算項目は
- データ・システム調査費
 - マーケティング戦略設計費
 - データ活用仕様設計費
 - システム開発設計費
 - 開発費
 - テスト費
 - 初年度保守費
 - 3年目までの保守

など大項目として指定しておくと比較がしやすいでしょう。

◎成果を実現させるためには、どのシステム、どのデータを連動・連結するべきかを提案させる。



データ活用プロジェクトで大切なのは **設計力と経験値。**

ジェネシスでは、プロジェクトゴールイメージ設定やRFPの作成から、貴社のデータ活用プロジェクトスタートのお手伝いをいたします。

実践的で成果の出るデータ活用プロジェクトはジェネシスと

直接メールでお問い合わせください

シニアコンサルタント
杉田 ユウイチ
sugita@genesiscom.jp

株式会社ジェネシスコミュニケーション
東京都千代田区九段南2-4-11
HIVE TOKYO 8F
TEL: 03-6272-4361